

秋の修学旅行、東北へ2泊3日



大日向 学校新聞

第二〇号

発行元

学校法人茂来学園
大日向小中学校

中学校より

十月四日から六日にかけて、中学二・三年生が東北に修学旅行に行ってきました。大日向中学校の修学旅行は旅行業者の方が間に合いません。そのため、行き先は自分たちで決定し、決められた予算の中で、生徒と教員とが相談しつつ旅行をつくりあげました。できあがった修学旅行の計画は以下の通りです。



写真1

【一日目】平泉での歴史探究
現在の日本にある世界文化遺産の二十個のうちの一つ、平泉町に行ってきました！平泉には、多くの歴史的に価値のある寺や庭園などがあることから、全域が世界文化遺産と認定されています。今回の旅では、金色堂、毛越寺に行ってきました。

東北の方々の寄り添うような優しさに触れながら、2泊3日の旅行を終えて帰ってきました。子どもたちの旅行の感想の一部をご紹介します。

- 一日目 「平泉」で歴史を学ぶ／「東松島」震災遺構でもある宿泊施設キボッチャで震災学習
- 二日目 「松島」で自然を学ぶ／「仙台」へ移動、仙台フィルハーモニーのリハーサル見学とSDGs探究
- 三日目 それぞれが選択した探究先へ（七夕まつり・仙台うみの杜水族館・角田宇宙センター）



写真2

金色堂は藤原清衡によって一一二四年に建てられました。（写真1）金色堂は写真の通り、表面が金で塗られています。その話は、凄すぎて言葉が出なかったほどです。私は、今回の旅行で、修学旅行に行くメンバーと、遠藤さんの子どもたちを描いた絵を遠藤さんに渡すことができました。（写真3）遠藤さんが自宅跡に作られた「虹の架け橋」にみんながいます。遠藤さんが、絵を渡すと予想以上に喜んでくれて、すごくほっとしたし、嬉しかったです。

（記事：R.K・H.S）

【一日目】東松島での震災学習
宿泊施設のキボッチャ（写真2）と一緒にバーベキューを楽しんだ遠藤さんは、東日本大震災で大事な家族を失った経験をされています。その遠藤

※キボッチャは、旧野蒜小学校です。建物の色が変わっている部分にまで津波が押し寄せたそうです。



写真3

写真4・5



※木工作家の遠藤さんは、大日向小学校の玄関にある二十個の木の玉や、時計を作って下さった方です。

(記事：S.I・Y.Y)

【二日目】松島と仙台フィルハーモニー管弦楽団見学

「The 日本三景・松島」

松島は、日本三景と呼ばれる観光名所である。松島を周遊する遊覧船に搭乗し、周辺にある島々を見た。天候が悪いと揺れることもあるらしいが、当日は、小雨が降ったが、あまり船は揺れずに快適に過ごせた。

数十個の島を見た。その中の一つ、船の愛称にもなった仁王島は、波によって写真のように特徴的な形になっていたりする。

(写真4)

松島は多くの島が波を堰き止め、地形的

に津波の被害は少なかったが、東松島の方は、運河を伝って津波に襲われたということを学んだ。

(記事：R.C)

「寄り添う音楽」

仙台フィルハーモニー管弦楽団は、仙台にあるオーケストラ楽団だ。

この旅では、仙台フィルと震災の関わりについて話を聞いた。東日本大震災で、仙台フィルはコンサートを中止せざるを得なくなった。しかし、震災の中、音楽は必要だろうかという不安がありながらも、被災者の人達のために、復興コンサートを開催することにした。被災者の人達は、辛いのは自分だけではない、という考えの人が多かったが、音楽を聞いて「泣いていい」という気持ちになったそうだ。仙台フィルの方々は、改めて音楽は必要だと思ったという。仙台フィルは、復興コンサートを続け、二〇二二年には千回を超えた。震災から十年以上経ったが、悲しみが癒えていない人もいると思う。仙台フィルには、これからも人々のために寄り添う音楽を届けてほしい。

(写真5)

(記事：Y.K)

【三日目】個人探究(水族館編)

仙台南の杜の謎！ーバックヤードよりー

水族館のバックヤードには、水槽があったり、作業をしているスタッフがい

たりする。魚のあごや全体の姿が分かる標本もあって、驚いた。(写真6・7)

魚や動物は病気になった時に、人間と同じようにサプリメントを飲んで元気になっていたり、食べ物も、人間と同じ甘エビや魚などを食べていたりすることがわかった。



写真6

水族館の水槽には、潜水士とダイビングの両方の資格があれば、誰でも潜ることが可能だと聞いた。この資格があれば水族館で働けるらしい。私は、水族館で働くには複雑な資格が必要なのだと思うので驚いた。

館内には、国内に五頭しかいないイロワケイルカの内、三頭がいた。繁殖させるために、他の水族館から借りてきているそうだが、イルカを運ぶだけでも一〇万円以上かかるらしい。お話を聞いて、一生懸命動物を繁殖させようとしていることがわかった。多くの魚や動物を繁殖させるために人間が工夫をし、生態系を守るために水族館同士が協力していることも学ぶことができた。

(記事：M.K)



写真7